

健康ぷらざ

No.104

企画:日本医師会

ご注意!

とびひの季節です

〈夏は子どもの皮膚の抵抗力がおちます〉

直射日光の下で、汗をかいたり水を浴びたりする夏は、

どうしても子どもたちの皮膚が不潔になりがちで抵抗力もおちます。

また、すりきずや虫さされの機会もふえます。

そこをねらっているのが、「とびひ」(伝染性膿痂疹)です。

子どもに多い皮膚病で、

水ぶくれになったり、かさぶたをつくったりして広がります。

原因のひとつのぶどう球菌は、日常生活のどこにもいるものですが、

かききずやすりきずをそのままにし、

不潔にしていると皮膚表面の菌の数が増えて化膿させてしまいます。

毎日入浴して肌を清潔に保つことが大切な予防法です。

きずは早目に治療しましょう。



指導:岡山大学名誉教授 荒田次郎

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。